

## もの言う牧師のエッセー 第125話

## ソチ五輪

### ④「真央ちゃんスマイル」

何というさわやかな笑顔だろうか。何と朗らかな微笑だろうか。これだ。これこそが真央ちゃんスマイルなのだ。2月21日、五輪ラストダンスとなるエキシビションが、アイスベルク・パレスで行われた。浅田真央選手は金色の衣装に身を包み、とびきりの笑顔で“最後の舞”を披露。使用された楽曲名も「スマイル」だった。通常エキシビションは男女の上位5人、ペア、アイスダンスの上位5組に加え招待選手が参加するが、世界中に感動を巻き起こした演技が評価されての出演依頼となった。当然である。

遡ること2日、19日のショートプログラムで最終30番目に登場した彼女は、メダルの鍵を握るトリプルアクセルの着氷に失敗し転倒。その後、3回転フリップは成功したものの、後半に予定していた3回転ループ-2回転ループのコンビネーションジャンプが2回転ループ1回にとどまる痛恨のミスとなり、まさかの16位。「何も分からない…」。茫然とする彼女。日本中が凍りついた。真央ちゃんからスマイルが消えた。

だが、翌20日、彼女は不死鳥の如く甦り、終わってみれば 史上初めて6種類の3回転ジャンプを全て成功させ、昨年11月のNHK杯で挙げた自己ベスト136・33点を上回る142・71点を叩き出した。万感胸に迫ったのだろう、演技終了と同時にリンク上で手で顔を覆い落涙。しかしその後、あの真央ちゃんスマイルが炸裂、世界中がその虜になってしまった。「くじけそうな時も、辛い時も笑顔って素晴らしいんだなと伝えたかった」と彼女。聖書も口を酸っぱくして言う。

### 「いつも喜んでいなさい。」1テサロニケ人への手紙 5章 16節

と。我々には真央ちゃんのような強さはないかも知れない。どん底に叩き落された時、彼女以上に茫然自失になるだろう。しかし、平和の君であり、十字架のどん底から蘇ったキリストを心から信じ、彼から聖霊をいただく時、我らも笑顔で苦難を乗り越えることが出来る。かと言って、クリスチャンは決して楽道家の集まりではない。己の力でやろうとしても続かないし無駄である。我らのことを愛して下さるキリストの力が喜びとなり、その結果、悲しみや憎しみ、苦しみを凌駕するのである。

2014-2-27



